

令和 8 年 9 月 3 日

菌体りん酸肥料「するがーでん・ふじ」について

本市では、下水処理の過程で発生する汚泥を、廃棄物として処分するだけでなく、地域の資源として有効活用する取組を進めています。

本市が下水汚泥を原料として製造した肥料について、令和 7 年 11 月 17 日に農林水産大臣認定を受け、令和 8 年 1 月 5 日に下水道事業としては県内で初となる静岡県肥料登録を完了しました。

肥料の名称は、「するがーでん・ふじ」としました。

このたび、希望者に無料で配布する準備が整いましたのでお知らせします。

この肥料を皆様に実際に使っていただき、資源の有効利用や循環型社会について身近に感じていただけることを期待しています。

記

1 「するがーでん・ふじ」について

(1) 菌体りん酸肥料とは？

従来の汚泥肥料は、一般的に肥料成分のばらつきが大きいことから、肥料成分の保証ができず、他の肥料との混合も認められていないという課題がありました。

このため、農林水産省は汚泥資源を利用した肥料のうち、品質管理が徹底され、肥料成分である「りん酸」を保証できるよう、令和 5 年 10 月に、新たな公定規格「菌体りん酸肥料」を創設しました。

(2) するがーでん・ふじの特徴

一般的な肥料に含まれる肥料の三要素は、りん酸、窒素、カリウムです。「するがーでん・ふじ」はりん酸を 2.7% 以上含み、カリウムを含まないことが特徴です。りん酸は、植物の根の発育や生育初期の成長や、花や実つきの生育促進などに関わる重要な養分であることから、「するがーでん・ふじ」は作物の肥料として活用できます。



(3) するがーでん・ふじの検証結果

令和8年にトウモロコシ及びヒマワリへの施肥を行いました。

トウモロコシは、一般的な肥料を施肥したものと比較し、発育状況・糖度共に遜色ないことが確認できたため、収穫して小学校に配布。

ヒマワリは、通常の肥料のものと変わりなく順調に生育しました。



ヒマワリの栽培（下水処理場）



収穫したトウモロコシ「わくわくコーン」

2 配布概要

- (1) 配布日時 9月16日（水曜）午前9時30分～11時30分
※以降毎月2回配布予定。配布日は、市ウェブサイトでお知らせしていきます。
- (2) 配布場所 西部浄化センター（富士市宮島 1260）
- (3) 配布対象 どなたでも受け取ることができます
※富士市民以外も可。数量に限りがあるため、富士市民を優先する場合があります。
- (4) 申し込み 配布日の3日前までに、富士市ウェブサイトから電子申請
- (5) 配布数量 上限1人100kg（約1.5トン用意しています）
- (6) 受取方法 西部浄化センターに取りに来てください
・肥料を入れる袋や容器はご用意ください。
・肥料には特有の臭いがあるため、密閉できる袋や容器を推奨します。

※今後は、有料化を視野に入れ、検討していきます。

問合せ 上下水道部下水道施設維持課施設管理担当
電話／0545-67-2846 FAX／0545-67-2896
e-mail／ge-shisetuiji@div.city.fuji.shizuoka.jp